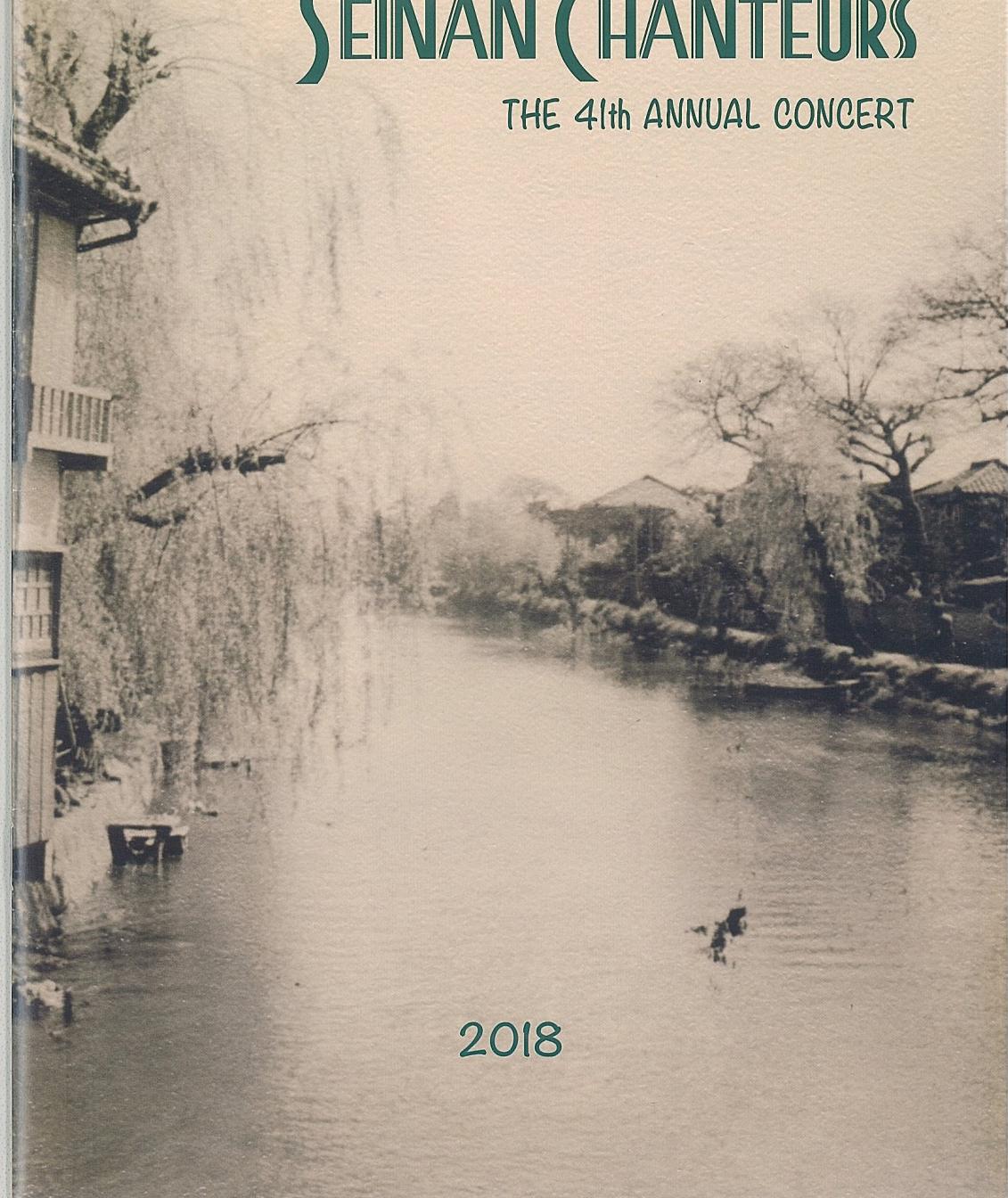


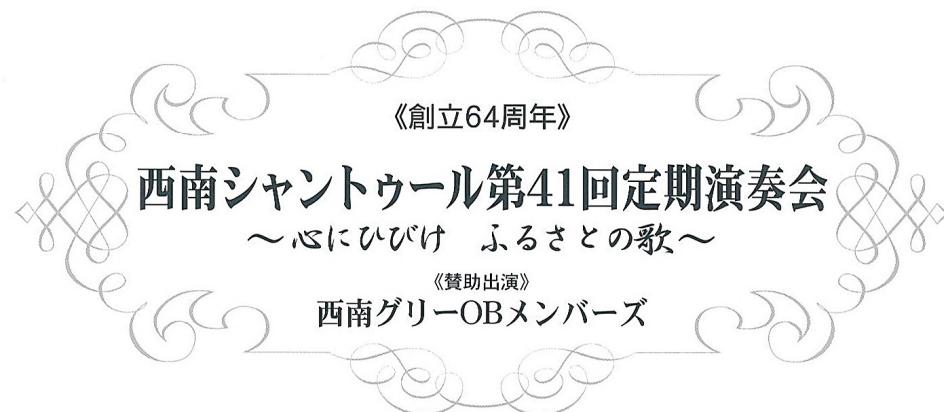
SEINAN CHANTEURS

THE 41th ANNUAL CONCERT



2018

平成30年度福岡市民芸術祭参加



2018年10月20日(土) 14:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催：西南シャントゥール 共催：西南学院グリークラブOB会
後援：福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団・福岡市教育委員会・西日本新聞社・福岡県合唱連盟
福岡音楽団体連絡会・西南学院大学同窓会・西南学院大学学術文化会OB/OG連合会



第40回定期演奏会 (2017.12.9)

西南シャントゥール
会長／的野 恒一

本日は何かとお忙しい中、西南シャントゥールの「第41回定期演奏会」にご来場賜り厚く御礼申し上げます。

今年はアクロス福岡側の都合により、例年よりひと月半以上も早い演奏会となりました。この為、練習回数も大幅に減少し、メンバーにとっては、より集中度を高めての練習日が続くこととなりました。本日の努力の成果をご披露いたしますが、皆様のご満足が得られます事をただ願うばかりです。

本日のプログラム第1ステージは、石丸 寛編曲による「フォスター・アルバム」です。皆様もよくご存じの懐かしいメロディを、ソリストが誘導します。第2ステージは、西南グリーOBメンバーズの贊助出演による、ミュージカル「学生王子」です。ピアノとのコラボレーションでお楽しみください。

休憩を挟んでの第3ステージは、男声合唱組曲「柳河風俗詩」です。詩は北原白秋、作曲は多田武彦です。作曲家・多田武彦は全国の男声合唱団にとては、まさに神様的存在でした。西南シャントゥールとの縁も深く、これまでエール「Hail Seinan」の他に、3つの組曲の委嘱をお願いしてきました。その氏が、昨年12月12日、87歳で他界されました。本日は氏が作曲された最初の男声合唱組曲を御靈に捧げたく思います。現役西南学院グリークラブとOB会の有志メンバーが加わった110名を超すメンバーで謳う追悼のステージとなります。メンバーにとりましても忘れられぬステージとなるでしょう。そして第4ステージは、北原白秋の詩に、平井康三郎が作曲した歌曲集を平井自らが男声合唱に編曲した「日本の笛」です。ピアノ伴奏に、フルート、太鼓等が加わっての旧き日のふるさとを偲ばせる組曲です。長くご記憶いただければ幸甚です。

今年も昨年に引き続き、災害が多い年となりました。皆様方も普段からの備えを万全とされて、平成最後の御代をお元気で過ごされますこと、切に願っております。

最後になりましたが、本演奏会の開催にあたりご協賛くださいました企業各社、並びに共催、後援を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

西南学院グリークラブOB会
会長／黒江 量二

例年より2か月余り早い演奏会になりましたが、本日のご来場誠にありがとうございます。

私事ですが、今年の演奏会はこのほか縁を感じております。話は55年前の1963（昭和38）年に遡りますが、本日の第2、第4ステージの演奏曲を、今はなき、電気ホールで歌っているのです。大学3年生の夏に開催された西南学院グリークラブ第13回定期演奏会でのことです。

当日の客演指揮者は畠中良輔先生(1922-2012)、北九州市出身で同郷の方でもありました。ご承知の方も多いと思いますが、先生は、作曲家、合唱指揮者、バリトン歌手、文筆家と多彩な方でしたが、愛称ブル先生と呼ばれるお茶目な方でもありました。

特に、日本歌曲に造詣が深く、「日本の笛」では作詩、作曲者の思いなども含め細かい指導がありました。「学生王子」は、先生が長い間専任指揮者をされた男声合唱団、慶應義塾グネル・ソサイエティーで1960(昭和35)年に初演をされており、この曲が非常にお気に入りだったようです。私たちは、先生お薦めの2曲を直接の指揮で歌うことができたわけで、今でも、グリークラブに入部していて良かったと思います。55年振りの「日本の笛」は、当時を想い出しながら日本語を大事に歌いたいと思います。「学生王子」は、我々より20歳程若い《西南グリーOBメンバーズ》の皆さんのが歌ってくれますので、楽屋でGaudemusを口ずさみたいと思っています。

復活コンサートから8年目を迎える西南学院グリークラブは、学生諸君の周到な準備が功を奏し、4月の新入部員勧誘活動で11名の仲間を迎い入れました。一方で4年生は就活のほうが忙しく、全員が一同に集まる環境は相変わらず厳しいものがありますが、練習時間を増やしたり、他大学合唱団との連携を深めたり、と積極的な取組みをしています。本日の演奏会でもOBと一緒にステージに立ちハーモニー創りに挑戦しますが、これからも歌好きな若者たちのために支援活動を続けてまいります。今後とも、西南学院グリークラブ及びOB合唱団の活動に対しまして、ご協力、ご支援を賜りますようお願いを申し上げまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

尚、西南学院グリークラブは2019年100歳を迎えます。この間ご支援をくださいました皆様方に感謝の気持ちを込めまして、2019年9月22日(日)アクロス福岡にて、100周年記念フェスティバルを開催いたします。入場無料で行いますのでどうぞお誘いあわせの上お越しくださいませ。



[I 部]

yell : Ah Seinan !

作詞/Alma O'Norean Graves・作曲/石丸 寛

I. C. S. Foster's Album

～ フォスター・メドレー～

- The Old Folks At Home 《故郷の人々》
- Oh! Susanna 《おお！スザンナ》
- Uncle Ned 《ネッドじいさん》
- Nelly Bly 《ネリー ブライ》
- Hard Times, Come Again No More
《厳しき時代よ、もう二度と来ないで》
- Nelly Was A Lady 《ネリーはレディだった》
- Gwine To Run All Night 《キャンプタウンの草競馬》
- Beautiful Dreamer 《夢見る佳人》

作詞・作曲/ C. S. Foster

編曲/ 石丸 寛

指揮: 徳永和彦
ピアノ: 江頭玲衣

II. 《贊助》西南グリーOBメンバーズ

男声合唱組曲『学生王子』

作詞/ Dorothy Donnelly

作曲/ Sigmund Romberg

編曲/ 北村 協一

監修/ 広瀬 康夫

指揮: 井手敏彦
ピアノ: 植村和彦

ナレーション: 井上八月

- Golden days 《輝ける日々》
- Drinking Song 《乾杯の歌》
- Deep in My Heart, Dear
《わが心に君深く》
- Serenade 《セレナーデ》
- Students March Song 《学生行進曲》

—— 休憩 ——



[II 部]

III. 多田武彦先生追悼ステージ

男声合唱組曲『柳河風俗詩』

作詩/ 北原 白秋

作曲/ 多田 武彦

指揮: 毛利正明

- 柳河
- 紺屋のろく
- かきつばた
- 梅雨の晴れ間

IV. 男声合唱版『日本の笛』

作詩/ 北原 白秋

作曲/ 平井 康三郎

指揮: 徳永和彦

ピアノ: 植村和彦

フルート: 中西久美

パーカッション: 花岡金光

- 祭もどり
かじめ
- 捱布とたんぽぼ
- 親船小船
- あの子この子
- ぬしは牛飼
- びいでびいで
- 追分
- 夏の宵月
- 山は雪かよ
- ちびツグミ
- 野焼のころ

I S. C. Foster's Album

スティーブン・コリンズ・フォスター (Stephen Collins Foster) 1826.7.4.-1864.1.13

フォスターの生まれたころのアメリカは、1776年7月4日に独立宣言が発せられ、その後、西部開拓が進み、このころ、アフリカから連れてこられた黒人奴隸が使われていた時代で、19世紀中ごろまでに、中・南アフリカから、千数百万の黒人奴隸がアメリカ大陸などに送られてきます。1861年には南北戦争が始まっています。

フォスターは、アメリカ独立宣言から50年後の1826年7月4日に、ペンシルバニアのピットパークで9番目の子供として生まれました。フォスターは専門的な音楽教育を受けなかったにもかかわらず、10代ですでに歌曲の分野で頭角を現し、20歳以降は当時流行っていた「ミンストレル・ショー」のために書いた歌曲が次々にヒットして、作曲家としての地歩を固めました。

フォスターの歌は、西部開拓の時代に生まれ苦しい開拓の中、多くの人々に愛唱され広まっていきます。しかし、著作権保護制度がない時代、楽譜は売れても収入につながらない(出版社だけが儲ける)、という状況が続き、1861年に始まった南北戦争は、フォスターの破滅へとつながります。

北部に属するフォスターの曲は南部では演奏されなくなり、「ミンストレル・ショー」「ミンストレル・ショー」とは、白人が顔を黒く塗り、黒人の格好をして演じる芝居)の趣向も戦時向に変化して、ヒット曲が出なくなったり収入は一気に激減、一時期ニューヨークでの作曲活動が続いますが、安宿を泊まり歩くようになったフォスターは、次第に酒におぼれる生活を送るようになり、胸の病気におかされてホテルの洗面所で倒れ大量に出血し、それがもとで1864年1月、37歳で息を引き取りました。

フォスターは、200曲余の曲を作曲しています。その作品は、アメリカの開拓時代から自身の生活環境の中から生まれた「コミカルな曲」「ロマンティックな曲」「哀愁の曲」に分類されます。今回歌います「フォスター・アルバム」はそれぞれの曲の中から、石丸寛さんが選曲、お洒落なピアノ伴奏と男声合唱に編曲された8曲をソロを交えたメドレーでお届けします。私が入学した年の初めてのグリークラブ定期演奏会で、石丸さんの指揮で「フォスター・アルバム」を歌った感動を思い出しながら……。

● The Old Folks at Home (故郷の人々) 1851年

フォスターの代表作、「スワニー河」の別名でも知られ、この曲により作曲家としての地位を確立したと言われています。

黒人たちが、アメリカ南部での綿花畑(プランテーション)から逃れ、北部の自由州で生き延びる彼らが、昔の子供の頃を懐かしく哀しく思い出す切ない曲となっています。

● Oh ! Susanna (おお！スザンナ) 1848年

西部開拓時代ゴールドラッシュに幸運を求めて幌馬車でカルフォニアに向かう男たちによって愛唱され行進曲として大ヒットした曲です。

「どうしゃ降りだけれど乾燥してて、晴れているけど凍え死ぬ?」……

フォスターはコミカル・ソングの名手でもあり歌詞の中には、ナンセンスな部分がいくつか見られます。この曲を作ったのは彼がまだ10代半ばの頃で、親しい仲間同士で楽しく騒ぐために即興的に作曲したと伝えられています。

● Old Uncle Ned (ネッドじいさん) 1848年

「生きているときはつらい苦役ばかりだったから、死んで幸福な天国に行けることの方がずっと嬉しい」。コーラスの部分の「良い黒人が行くところ」とは天国でしょう。スコップや鍵、ヴァイオリン(フィドル)や弓を置くのは柩の中に遺品として一緒に入れるということでしょうか?

● Nelly Bly (ネリー・ブライ) 1850年

可愛らしく美しい歌の歌。プランテーション(綿花畑)で働く黒人たちの恋を語らう歌の中で、詩もメロディも素晴らしく一番の傑作と言われています。フォスターの曲の中で日本でもよく歌われる曲で、明るく情感豊かに、心も弾む曲となっています。

(文・指揮者・徳永和彦)

The Old Folks At Home 故郷の人々

スワニー河を下った
はるか、はるか向こう
そこにはわたしの心がずっと求め続けている場所があり
そこにはなつかしい仲間たちが暮らしている
今はあてどもなく、あちこちを
悲しくわたしはさまようが
それでもなお、あなたのつかしいプランテーションを
そして故郷のなつかしい仲間たちを思い出す

世界中を悲しく疲れ切って
どこへでもわたしはさまよう
おお、なんとかわたしの心は重く沈むのか
故郷の人と遠く離れてしまって

Oh! Susanna おお！スザンナ

俺はアラバマからやってきた
パンジョーを膝に乗せ
俺の大好きな恋人に会いに
ルイジアナを目指してくんだ
俺の出かけた日は一晩中雨が降って、
天気はカラッカ
お日様は暑くて凍え死にそうだったぜ
——スザンナ、泣くんじゃねえぞ

おお、スザンナ、泣くんじゃねえぞ
俺はアラバマからやってきた
パンジョーを膝に

Uncle Ned ネッドじいさん

ひとりの年老いた黒人がいた、
みな彼をアンクル・ネッドと呼んでた
彼は死んじまつた、ずっとずっと昔に
彼の頭のてっはんにヤモジャモジャ毛はなかった
ほんとだら毛があるところに

だからシャベルと鍬を置いて
ヴァイオリンと弓も入れてやろうぜ
衰れなネッドじいさんにもうつらい仕事はない
彼は良い黒人が行くところに行ってしまったから

Nelly Bly ネリー・ブライ

ネリー・ブライ！ ネリー・ブライ！
おい、ほうきを持ってこっちにおいでよ
ぼくらはキッチンの床を掃いて、ねえ
それから歌を歌おうよ
薪を火にくべるんだ、恋人よ
火をしっかりと燃やすんだ
おいらがパンジョーを取りにいっての間
おかゆをしっかりかき混ぜてくれよ

ハイ！ネリー！ホー！ネリー！
おいらの愛を聞き届けてくれよ
おいらは歌うよ、彈くよ素敵なメロディを

Hard Times,Come Again No More

厳しき時代よ、もう二度と来ないで

人生の喜びに安らぎ、人生の涙を數えよう
われらが不幸な者達と悲しみを分け合うときには
そこにはずっと耳に残っているひとつの歌があるのだ
「おお、厳しき時代よ、もう二度と来ないで」と

それがこの歌だ、疲れ果てた溜息の歌
「厳しき時代よ、厳しき時代よ、もう二度と来ないで
ずっと長いこと、おまえは小屋の戸口にいつもいたが
おお、厳しき時代よ、もう二度と来ないで」

Nelly Was A Lady ネリーはレディだった

ミシシッピを浮かんで下りながら
長いこと俺は旅した
一晩中綿の木を運んでは
俺の真の恋人のため一日中歌う

ネリーはレディだったさ
昨晩死んじまつたけどな
鐘よ鳴れ 愛するネルのために
俺の黒いヴァージニアの花嫁のために

Gwine To Run All Night キャンプタウンの草競馬

キャンプタウンのご婦人方、この歌歌ってくれ
ドゥーダー ドゥーダー
キャンプタウンのレーストラックは5マイルの長さだ
オー ドゥーダー ディ
おいらはそこへひしゃげた帽子をかぶってお出ましさ
ドゥーダー ドゥーダー
うちに帰るときやポケットいっぱいの小銭だぜ
オー ドゥーダー ディ

一晩中走るぜ
一日中走るぜ
おいらはボブティールの小馬に賭ける
鹿毛に賭けるやつもいる
あの長い尻尾の牝馬やでっかい黒馬は
コースを飛ぶように走ってぶっちぎる
アホたれ馬はでっかい泥の穴にはまつたぜ
10フィートの棒でも底には届かない深い穴だ

Beautiful Dreamer 夢見る佳人

眠れる美しき人よ、目を覚まして私のものとへ来て
星の光と夜露があなたを待っている
昼間間こえるせわしない巷の物音も
月の光に静められ消え去ってしまった

美しき人、私が歌を捧げる女王
この優しい調べで、私の愛の言葉を聞いて
人生の悩みごとも皆消え去るのだから
眠れる美しき人よ、目を覚まして私のものとへ
眠れる美しき人よ、目を覚まして私のものとへ

● Hard Times Come Again No More

(厳しき時代よ、もう二度と来ないで) 1855年

南北戦争より少し前の作品、世の中の流れや、時代を反映した曲で「厳しいくさの時代よ、早く終わってくれ」という願いを込めて愛唱されました。メロディは悲しくはないが、聴くと切ない、黒人の苦境が歌われています。

作曲者自身にとっても押し寄せてくる重圧、作品が統けて出せるかとの不安、家族への責任などが歌にじみ出ているとも云われています。

● Nelly Was a Lady (ネリーはレディだった) 1849年

日本では「やさしきネリー」と訳されています。

Ladyとは貴婦人のことで、奴隸の身分の男の妻には使われない呼び方を、妻に先立たれた男の悲しみを表す言葉としてフォスターが使ったといわれています。長調の曲ですが、深い悲しみの歌となっています。

● Gwine to run all night!

(キャンプタウンの草競馬) 1850年

Camptownは当時盛んだった鉄道建設のために、各場所を移動しながら建設作業者が移り住んでゆくために作られたテント村のこと、競馬レースに金を掛け仕事の合間に楽しんだのでしょうか？

● Beautiful Dreamer (夢見る佳人) 1864年

フォスターの死後に残された未作品の中の代表作で、眠りから覚めぬ恋人、「わが心の女王、夢見る人」への呼びかけ、優雅なメロディーでワルツ調のテンポで歌われるこの曲は哀しみの中にも明るく美しい曲となっています。

(文・指揮者・徳永和彦)

II 男声合唱組曲 ミュージカル「学生王子」

東海メールクワイア 会長 都 築 義高

20世紀初頭に、ミュージカル前期のオペレッタ時代の三大作曲家として活躍したのが、ヴィ克ター・ハーバード、ルドルフ・フリムル、シグムンド・ロンバーグである。この三人はヨーロッパでクラシックの教育を受け、アメリカに移住し、英語によるアメリカン・オペレッタを書き、それがミュージカルへ集積されていく。

ロンバーグは、ハンガリー生まれのウィーン育ち、「メリー・ウイドウ」で有名なフランツ・レハールと同じ出自を持ち、正に本流のオペレッタ作曲家であり、登場人物の性格と心理描写、場面に応じた曲想などに秀でていた。また、アメリカのシーベルトと言われるほど美しい親しみやすいメロディを書いた。勿論ウィンナ・ワルツなどのウィーン情緒が基調にあるが、彼は舞台を観る鋭い眼を持っている類いまれなメロディ作家であり、不滅の作品を数多く残した。

さて、「学生王子」は動きの早い現代的ミュージカル・コメディや、物語のないレヴューの流行を抑えて、「ハイデルベルクの学生王子」という古臭い題名で1920年代のミュージカルとしては最高の上演回数を記録した。ロンバーグのオペレッタ作曲家としての真価を發揮した代表作である。1921年にブロードウェイの大興行師シーバート兄弟から、19世紀末のドイツの戯曲「懐かしのハイデルベルク Old Heidelberg」を渡されたロンバーグは物語の題材の素晴らしさに感動し、それまでのミュージカルとは違うもっと洗練された作品にしようと考えた。そのため自作ミュージカルのように娛樂性だけを追求するのではなく、彼が影響を受けたオペレッタのようなヨーロッパ的な気品を兼ねた作品を目指した。

出来上がってみると全くのオペレッタ作品で、シーバート兄弟は「オペラが望みなら、客はメトロポリタン歌劇場へ行く」とか、「ハッピー・エンドでなければダメ」「コーラス・ガールが歌わないミュージカルなんて魅力がない」度々書き直しを命じたが、ロンバーグは頑として譲らず3年がかりで全曲を完成、「ハイデルベルクの学生王子」という題名でそのまま押し通して上演し、結果的にはロンバーグのオペレッタ構想が成功して大ヒットとなった。なお、この作品で登場した36人の男声コーラスが受け、その後シーバート作品に度々登場、そのトレード・マークとなった。

「学生王子」の中の「セレナーデ」は、ロンバーグがシーバート兄弟と訴訟を起こしてまで「学生王子」に組入れた曲である。シーバート兄弟は終幕の歌としては悲しい歌だと考えたのである。ロンバーグは自説を曲げず訴訟を起こして勝利し、今なお「学生王子のセレナーデ」として不滅の光を放っている。勿論、この「セレナーデ」は、シーベルトの「セレナーデ」へのオマージュであり、この「学生王子」自体がドイツの19世紀末の戯曲を基にし、ドイツ・ロマン派の音楽の影響を受けたヨハン・シュトラウス「世のオペラ・オペレッタから、レハールのオペレッタの流れを汲んで、アメリカ風オペレッタ創生を目指したロンバーグの悲願が穂ったものであることは間違いない。大興行主より大衆の感性は優れていた。20世紀初頭のブロードウェイの観客は、「ハイデルベルクの学生王子」の中の、眞実の愛の物語と本物の洗練された音楽に感動し、喝采をおくったのだった。

「学生王子」は、1927年にラモン・ノヴァーロとノーマ・シアラーの主演でサイレント映画が作られ、1954年には、MGMがシネマスコープ、総天然色で、王子がエドマンド・バーダム、ケティがアン・ブライスで制作されている。この1954年版には、王子役で「歌劇王カルーソ」(1951)で絶賛を博したマリオ・ランツァが出演するはずだったが肥満のため役を下され、バーダムと交代した。ランツァは不満で訴訟を起こしたが、収録した歌唱部分を使うことで和解した。日本での公開された1955年は、ちょうど皇太子殿下(今上天皇 明仁殿下)のご成婚ニュースが話題になっていたので、「皇太子の初恋」という邦題で公開された。衣装、装置も素晴らしい、アン・ブライスとマリオ・ランツァの華麗な歌声がたっぷり楽しめる夢のような名画である。

『学生王子』あらすじ

1860年頃、中部ヨーロッパの小さな王国「カールスブルグ」の若き王子カール・ハイニッヒは、両親が早く亡くなつたため、後見となつた叔父の国王に育てられてきました。国王は高齢のため、皇太子カールに早くお妃を迎え、自分の地位を譲りたいと考えていました。学齢に達した王子は、晴れて学生生活を過ごすべく教育係のエンゲル博士と共にハイデルベルクへやってきます。

ハイデルベルクは学生の都、自由と歡喜と青春の輝く街でした。王子の住まいはネッカー川そばのリューダーという下宿屋で1階は居酒屋兼食堂になっており、いつも学生達で賑わっていました。リューダーの家には美しい乙女ケティがおり、二人はたちまち恋に結ばれてしまいます。

カールはケティの勧めで身分を忘れ一人の学生になりきろうと、学生団「ザクソン隊」に入団し、学生生活を楽しみながらもケティとの愛を育んでいきます。

数ヵ月後、國元から使者がやってきて、国王の容態が悪くすぐに帰国するようにとの知らせを伝えます。王子が帰つてみると国王は長くないことがわかり、しかも国王はすでにカールの妃となる姫を決めしていました。王子は再び宮殿生活に戻らなくてはならなかつたのです。

2年後カールはカールスブルグ大公となり、再びハイデルベルクを訪れます。街並みや学生気質は変わつてしまつたが、ケティだけはカールのことを忘れない想つていました。カールを乗せた列車を涙で見送るケティ、大公の胸にはハイデルベルクで過ごした思い出だけが残つてました。

シグムンド・ロンバーグの生涯

シグムンド・ロンバーグは、リストが死んで1年後の1887年7月29日にハンガリーのツエンゲンに生まれた。高校生の時、一家はウィーンに引っ越し。ここで観た「こうもり」「メリー・ウイドウ」はたちまち彼の心を捕え、オペレッタ作曲家ホイベルガーの元で楽器の奏法から作曲法、そしてオーケストラ指揮法までマスターする。2年間の軍隊生活を経て1909年、22歳の時アメリカに渡る。工業技師としてニューヨークのイーグル工場で働いたが、アルバイトとしてハンガリー・レストランでピアノを弾くようになり、3年後には自分のオーケストラを持ってウィンナ・ワルツを演奏するまでになる。そのうちに作曲が本業となり、彼の作曲したダンス曲は次第に知られ出版されるようになる。評判が高くなり、遂にブロードウェイの大興行師シーバート兄弟にスカウトされて、1914年ミュージカルショウ「世界めぐり」の音楽を担当してデビューした。それがヒットして大成功を納め、一躍注目を浴びる。その後、約15年間は年3本強という量産ペースで中級ヒット作を書きまくった。そして1917年「五月の頃」を発表し最初の大ヒットとなる。ロンバーグは、それまでヨーロッパ系のオペレッタの作曲家と見られていたが、この「五月の頃」では、これまでとは違つた情緒を盛り込み、聴衆の大喝采を浴びた。ウィーンのオペレッタを基としたアメリカ・ミュージカルの誕生であった。その後1936年までの間、「花咲く頃」(21)、「学生王子」(24)、「砂漠の歌」(26)、「ニュー・ムーン」(28)などの大ヒットを飛ばし、ミュージカル作曲家としての地位を確立する。彼のブロードウェイで最もヒットしたミュージカルは、「花咲く頃」「学生王子」「ニュー・ムーン」の3作品で、「花咲く頃」は5,000回、「学生王子」は4,800回、も上演されている。1930年代に入るとハリウッドへ行き、「VIENNESE NIGHT」(30)、「THE GIRL OF GOLDEN WEST」(30)などの映画音楽を書く。第2次世界大戦中は、自身のオーケストラを指揮して各地を慰問巡業し、戦後はもっぱらラジオで活躍して、N.B.C.、ハリウッドボール等の有名オーケストラの指揮をとつていたが、1951年11月8日に、ニューヨークの自宅で64歳の生涯を閉じた。

ロンバーグが書いた曲には、ボビュラーのスタンダード・ナンバーになっているものが多い。「ニュー・ムーン」の「恋人よ我に帰れ」、「学生王子」の「わが心に君深く」、「セレナーデ」などである。ロンバーグがシーバート兄弟のために書いたショーは66本だが、他にミュージカル79本、映画音楽7本、歌曲は2,000曲と言われている。

夕焼、小焼、
明日天気になあれ。

* BANKO 緑臺、葡萄牙語の轉化か。

もうし、もうし、柳河じや、
柳河じや。
銅の鳥居を見やしやんせ。
欄干橋を見やしやんせ。
(駄者は喇叭の音をやめて、
赤い夕日に手をかざす。)

薺の生えた
その家は、
その家は、
眷いむかしの遊女屋。
人も住はぬ遊女屋。

裏のBANKOにある人は、
あれは隣の繼娘。
繼娘。

水に映ったそのかげは、
そのかげは、
母の形見の小手鞠を、
小手鞠を、
赤い毛糸でくるのじや、
涙片手にくくるのじや。

もうし、もうし、旅のひと、
旅のひと。

あれ、あの三味をきかしやんせ。
鳩の浮くのを見やしやんせ。
(駄者は喇叭の音をたてて、
あかい夕日の街に入る。)

にくいあん畜生は筑前しばり、
華奢な指さき濃青に染めで、
金の指輪もちらちらと。
にくいあん畜生は筑前しばり、
黒の前掛、毛繻子か、セルか、
博多帯しめ、からころと。

にくいあん畜生と、擁えた猫と、
赤い入日にふとつまれて
鴻に陥つて死ねばよい。ホンニ、ホンニ……

廻せ、廻せ、水ぐるま、
廻り舞臺も滑るなり、
水を汲み出せ、そのしたの葱の畑のたまり水。

廻せ、廻せ、水ぐるま、
梅雨の晴れ間の一日を、
せめて樂しく浮かれよと

廻せ、廻せ、水ぐるま、
だんだら暮の黒と赤、すこしかかげてなつかしく
旅の女形もさし覗く、
水を汲み出せ、平土間の、田舎芝居の葦畠。

廻せ、廻せ、水ぐるま、
はやも午から忠信が紅隈とつたしやつ面に
足どりかろく、手もかろく、
狐六法踏みゆかむ花道の下、水ぐるま……

細い吐息に泣きあかす。
(鳩のあたまに火が點いた、
潜んだと思ふたらちよいと消えた。)

III かきつばた
柳河の
古きながれのかきつばた、
晝はONGOの手にかをり、
夜は萎れて

三味線の
細い吐息に泣きあかす。
(鳩のあたまに火が點いた、
潜んだと思ふたらちよいと消えた。)

* 「IIIかきつばた」の作曲された歌詞では次のようになっている。
出典 抒情小曲集 狐六法踏みゆかむ花道の下、水ぐるま……
筑後柳河版 「おもひで」明治四十四年六月五日発行
(鳩のあたまに火が點いた、
潜んだと思ふたらちよいと消えた。)

曲の全編で「廻せ、廻せ、水ぐるま」と歌われるが、むしろで開いた圓天井の小屋のあちこちに梅雨の雨水が溜まっている。それを小さな足こぎ水車でかき出さなければならない。このドタバタの様子と演じられている演目の格調高さがアンバランスで実に滑稽なのである。

さて、貴方のおろくさん像は?

III 多田武彦先生追悼ステージ

男声合唱組曲 「柳河風俗詩」

作曲者・多田武彦先生は、その青春時代を京都大学男声合唱団(1950年入学)の学生指揮者として送られた。卒業後、一流の大銀行に就職されたが、男声合唱への思いを断ち切りがたく、作曲家・清水脩に師事し、ア・カペラ(教会風無伴奏)の作曲を始める。いわゆる二足のワラジを履いたのである。その処女作がこの組曲「柳河風俗詩」で、たちまち全国の大学合唱団で愛唱され、今まで歌い継がれている。

先生は白秋の詩をよなく愛し、その後「東京景物詩」、「三崎のうた・第一」を経て、私どもシャントワールの委嘱で「三崎のうた・第二(1997年初演)」、「柳河風俗詩・第二(1994年初演)」が世に出た。詩の背景や解釈をめぐって、私ごときに意見を求められることもあった。「柳川の地を歩きましょう」とご招待したのだが、銀行の要職にあり多忙を極め、ついにそれは実現しなかった。「柳河風俗詩・第二」の福岡での初演の一年後、その第一曲目の「水路」が全日本合唱コンクール男声部門の課題曲に選定され、作曲者としての確固たる地位を確立された。その喜びの第一報の声が忘れられない。そんな先生も昨年(2017年12月12日)他界された。だが「タダ節」は未永く歌い継がれていく事だろう(生涯で113の合唱組曲、うち男声合唱組曲は94)。

世代の確実な変遷を感じる。自分の年は忘れて……。

I 柳河

柳川は観光川下りで有名だが、その出発地点近くの三柱神社の鳥居が銅板で巻かれている。白秋が言う〈かねの鳥居〉とはのことである。明治時代、水路は生活に密着した運搬などの交通手段であった。陸上ではまだバスもなく、馬車だったのだろう。駄者がラッパを吹いたり、やめたりして街案内をしている。

〈かねの鳥居〉の側に、今では川下りの乗船場になって三階建ての懐月楼という遊女屋があった。歌詞の〈ノスカイ屋〉はそれを目指している。明治4年の廃藩置県で立花藩が亡くなり、町は火が消えた様になった。遊女屋も廃業、屋根に薺が生えている。〈母の形見の小手鞠を〉は今で云う「下げもん」の鞠だらう。水路には水鳥のカツブリが小魚を求めて潜ったり浮いていている様が〈鳥の浮くのを見やしやんせ〉と歌われる。曲の最後、童謡の〈夕焼、小焼、明日天気になあれ〉で夕日に映える街を見事に表現している。

II 紺屋のおろく

白秋は紺屋のおろくさんを何と嫌ったものか。おろくさんの年恰好、既婚、独身、人間像など、歌を聴き終わると何となく浮かんで来るから不思議だ。主婦が〈猫を擁えて夕日の演を……しゃなしやなど〉散歩するだろうか。家事多忙の時間帯のはずだ。筑前しばりに博多帯、前掛は毛しゅすかセルかと質をつくし、金の指輪をちらつかせる。〈知らぬ顔して、しゃなしやなど〉つんとすまし込んだ風情。愛くるしさは微塵も無い。華奢な指さきが染料で濃青に染まっているのは、女性としてはなきどころかもしれない。白秋は見過ごしていない。白秋だけでなく近所の鼻つまみ者だったかもしれない。白秋が〈鴻に陥つて死ねばよい〉などいう(ホンニ、ホンニ)と賛同する人がいる事がそれを暗示している。

さて、貴方のおろくさん像は?

III かきつばた

五、六月頃、水路の川辺にかきつばたがあちこちに咲く。多年草だから毎年のことだ。実に美しい。〈昼はONGOの手にかをり〉のオング(ONGO)は良家の娘という方言だが、少女達がかきつばたを手に取って遊んでいるのだろう。切り花にすると萎えてしまうのが早い。〈夜は萎れて三味線の細い吐息に泣きあかす〉はかきつばたが自身の短命を泣き悲しんでいるのだろうか。〈三味線の細い吐息〉は夜の水路の風情をあまりどころなく現している。〈けぇつぐりの頭に火んちいた〉のカツブリの頭は赤色の羽毛におおわれており、その頭の赤色が水中に消えたり、浮かんでは火がついたように現れる様か。

IV 梅雨の晴れ間

旅回りの芝居は当時、唯一最大の娯楽だった。白秋の父がこのほか好きで、舟で水路を上り、観に行つたと言っている。演目は当り狂言「義経千本桜」四段目である。〈狐六法踏みゆかむ〉の六法とは東西南北の四法(方)に天地の方向を加え六法という。狐が獲物を狙う時、できるだけ近づくと最後は上に飛び上がり、上から押さえ込む。この事を指しているのだが歌舞伎では同じ側の手と足を同時に出し、次に反対の手足と交互に出して、体は横向きに傾いて片足でトントントンと進むステップである。義経一行が花道を下るときのしんがり、佐藤忠信が踏むステップで芝居の見せ場である。この忠信が実は狐の化身で後に源九郎狐と呼ばれた経緯は省く。

曲の全編で「廻せ、廻せ、水ぐるま」と歌われるが、むしろで開いた圓天井の小屋のあちこちに梅雨の雨水が溜まっている。それを小さな足こぎ水車でかき出さなければならない。このドタバタの様子と演じられている演目の格調高さがアンバランスで実に滑稽なのである。

(文・セカンドテナー・佐藤宗一)



フルート／中西久美 *Nakanishi Kumi*

フルート奏者、フリーアンウンサー
TEAM美魔女メンバー

東京藝術大学附属音楽高校、及び東京藝術大学音楽学部器楽科フルート専攻 卒業。
第4・3回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位。
第10回宮日音楽コンクール優秀賞。
大学卒業後、RKB毎日放送アナウンス部に入社。退社してからはフリーとして活動。
ONE UP MUSIC INC.よりALL WEATHER LOVEのボーカルとフルート担当でCDデビュー。
「星空のLOOP」(テレビ東京「スポーツTODAY」エンディングテーマ)
ソロ、室内楽、オーケストラなどで演奏するほか、クラシックを基にジャズやポップスのライブ活動を定期的に行う。音楽活動と共に、フリーアンウンサーとして、テレビやラジオ、司会やナレーション等の活動をしている。
NHK文化センター、フルート講師。
ヤマハ・ホームページ「笑顔の体操」出演。
福岡銀行「笑顔のトレーニング」朝礼DVD出演。
FM福岡「ジャズ サイト フクオカ」
RKB毎日放送「今日感テレビ」
RKB毎日放送「豆ごはん」
光文社主催の「国民的美魔女コンテスト」ファイナリスト。
TNCテレビ西日本「ももち浜ストア」
2012年11月、ボニーキャニオンよりTEAM美魔女のメンバーとしてCD「Forever Girl」でデビュー。
2014年11月、「ALL OF ME」アルバム発売。



パーカッション／花岡金光 *Hanaoka Kanemitsu*

「九州打楽器合奏団」代表。
「福岡大学応援指導部吹奏楽団」音楽監督。
「福岡市消防音楽隊」楽長。
吹奏楽・高文連、等コンクール審査員。
福岡大学出身、故郷は宮崎。



指揮／徳永和彦 *Tokunaga Kazuhiko*

福岡高等学校在学中合唱部に所属、指揮を担当。
1961年西南学院大学商学部卒業。
在学中、西南学院グリークラブ創立40周年記念演奏会にて学生指揮を担当。
1997年委嘱作品、多田武彦作曲:男声合唱組曲「三崎のうた・第二」、
又、2012年委嘱作品、多田武彦作曲:男声合唱組曲「中也の雨衣」を初演。
1996年より西南シャントワール指揮者。



指揮／毛利正明 *Mouri Masaaki*

1965年西南学院大学商学部商学科卒業。
在学中、西南学院グリークラブ創立45周年記念演奏会にて、客演指揮者の故・福永陽一郎先生の指導のもと学生指揮を担当。
1964年京都市で開催された全日本合唱連盟主催全日本合唱コンクール大学の部において第3位となる。
在学中より西南シャントワールの団員として合唱活動、現在に至る。



ピアノ／植村和彦 *Uemura Kazuhiko*

福岡教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽専攻卒業。
同大学院教育学研究科音楽教育専攻演奏学講座修了。
ピアノを片山由紀、倉員由紀子、福田ひろみ、福田伸光の各氏に師事。
第43回、第45回、第47回北九州芸術祭において伴奏賞受賞。
アンサンブルピアニストとして数多くの演奏会に出演し、多くの声楽家や管弦楽器奏者、合唱団と共に演を重ねている。西南シャントワール、久留米音協合唱団、修道館月いち合唱団ピアニスト。
西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」ピアニスト。
九州産業大学人間科学部講師。



ピアノ／江頭玲衣 *Egashira Rei*

福岡教育大学芸術コース音楽専攻卒業。
ピアノを太田昭子、福田伸光、唐崎由起子、畠瀬由美子の各氏に師事。
日本歌曲伴奏法を塙田佳男氏に師事。
2013年、福光OX-AROSA声楽セミナーにおいて奨励賞受賞。
文化庁芸術家派遣事業による学校訪問、保育園や福祉施設での訪問コンサートなど九州を中心に多様な演奏活動を行う。
現在、西南シャントワール、混声合唱団ポロロッカのピアニスト。
九州女子大学人間科学部非常勤講師。西南女学院短期大学保育科非常勤助手。

祝 西南シャントワール 第41回定期演奏会 公演のご盛会をお祈り申し上げます

平成30年度 西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」公演

オペラ ヘンゼルとグレーテル

エンゲルベルト・ファンペーディンク作曲 全三幕 原語（ドイツ語）上演 / 日本語字幕スーパー付
指揮：奥村哲也 演出：松本重孝 管弦楽：九州交響楽団 出演：西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」

2018年11月23日（金・祝）15:00開演予定 アクロス福岡シンフォニーホール

西日本オペラ協会事務局 ☎ 070-5272-2409 (担当:上田)
<http://www.nishinihonopera.jp/> (西日本オペラ協会)公式ホームページ。公演のお知らせもあります。



()は卒業期(西暦年次)です

《第IIステージ賛助出演》 西南グリーOBメンバーズ

当然ながら西南学院グリークラブのOBで構成された合唱団ですが、働き盛りの40~50歳代でとてもシャントワールの活動には参加できない、福岡県以外の遠隔地に住んでいたため何度も福岡に来れない、そしてこの演奏会のために遙々東京からやってきた東京OB会、さらにはシャントワールのメンバーで「学生王子」を歌いたいというメンバーが集まつた合唱団です。

私達は大学を卒業してかなりの年月が経ちますが、学生時代に没頭した合唱ハーモニーの心地良さは今も忘れることができません。しばらくは合唱から遠ざかっていましたが、多忙の中でも1ステージでもいいから歌ってみたいという者が次第に集まり、貴重な休みを調整して月1~2回の練習に励んできました。

先輩格である「西南シャントワール」の定期演奏会で1ステージをいただいてから、今年で5回目の賛助出演となります。活動は継続しているものの、転勤で参加できなくなった者、仕事でどうしても毎回の練習に参加できない等不安要素は消えませんが、本日ご来場いただきました皆様に男声合唱ハーモニーの魅力を精一杯お聴かせしたいと私達一同肝に銘じて歌います。シャントワールの演奏と同様にお楽しみいただければ幸いです。



指揮／井手 敏彦 Ide Toshihiko

西南学院大学経済学部卒 83期生。大学2年の時副指揮者兼セカンドテナーのパートリーダーを務め、3年の冬、アメリカ演奏旅行で正指揮者デビュー、成功に導く。卒業後は郷里長崎県波佐見町に帰り、小学校の教員になる。ほぼ同時に地元の児童合唱団の指導を引き受け、次いで男声合唱団「オールドダックス」、「波佐見混声合唱団」の3つの合唱団を20数年指導を続けている。今までの「西南グリーOBメンバーズ'80~」でも指揮をして、今後若手の指導者として期待されている。

1st Tenor

2nd Tenor

Baritone

Bass

安倍 伸一	井手 敏彦	伊徳 諭	綾部 武利
大山 輝久	日下部 一徳	谷野 繢	磯貝 豊
城 保之亮	篠原 隆盛	藤 寿	井手 輝実
田中 幸雄	高川 弘幸	友永 史朗	岩崎 嘉範
中竹 茂美	時枝 典生	中嶋 恒生	朔 正毅
野田 誠一	中野 克彦		
藤尾 拓也	原 裕一	<東京OB会>	福田 誠司
	廣崎 公伸	牛嶋 昭	宮地 純
<東京OB会>	前田 英彦	緒方 良英	毛利 正明
岡田 和夫	山元 一憲	金子 泰久	
木下 俊彦		保家 大司	<東京OB会>
徳永 正章	<東京OB会>	森 猛	大中 豊
村上 正道	石丸 貴康	八尋 研二	岡 潔
	古瀬 哲也		樋口 一法
	霜村 元吾	<関西OB会>	邑本 真司
	田中 穂積	早川 明博	
	永留 幸明		<関西OB会>
	西田 正則		中野 裕之

1st Tenor

2nd Tenor

Baritone

Bass

宮地 基次 (54)	刀根 亨一 (48)	鈴木 勸 (62)	木道 昇 (54)
阿部 昌弘 (57)	的野 恒一 (53)	石川 和義 (66)	田中 義信 (55)
高木 正志 (59)	野辺 和馬 (59)	篠崎 詔二 (68)	靄 喜廣 (57)
中尾 武史 (63)	徳永 和彦 (61)	森 博彦 (69)	八尋 一雄 (59)
日高 良公 (65)	一柳 隆治 (64)	佐藤 棟也 (70)	佐藤 忠芳 (64)
飛松 智明 (68)	下田 昭 (64)	松尾 淳郎 (70)	毛利 正明 (65)
平塚 郁男 (69)	佐藤 宗一 (65)	山下 博英 (71)	夏秋 毅昭 (66)
本山 和文 (69)	黒江 量二 (65)	小西 真二 (71)	武藤 新 (68)
宮城 研二 (69)	石橋 信彦 (66)	里中 健 (71)	八尋 恵二 (69)
倉地 進 (71)	徳永 武雄 (68)	梶原 博司 (74)	角 正信 (70)
坂部 雅夫 (71)	石松 茂 (69)	朝山 澄彦 (76)	中垣 登 (72)
大司 真 (73)	山本 武裕 (69)	宮越 健雄 (79)	岩崎 嘉範 (80)
山口 聰 (75)	高川 弘幸 (70)	伊徳 諭 (80)	宮地 純 (83)
杉本 哲也 (75)	山元 一憲 (70)	窪田 敏博 (71)	福田 誠司 (85)
別府 義彦 (76)	眞鍋 敏介 (71)	眞鍋 敏介 (71)	綾部 武利 (85)
豊福 純生 (78)	山下 悅朗 (72)	砥上 雅壽 (75)	
		藤井 政重 (75)	

<西南学院グリークラブOB会：第3ステージ出演>

中竹 茂美 (83)	廣崎 公伸 (73)	中嶋 恒生 (73)	井手 輝実 (74)
安倍 伸一 (85)	時枝 典生 (83)	谷野 繢 (80)	磯貝 豊 (80)
城 保之亮 (89)	中野 克彦 (87)	友永 史朗 (81)	朔 正毅 (80)
田中 幸雄 (91)	篠原 隆盛 (92)		野間 利博 (81)
藤尾 拓也 (92)	原 裕一 (92)		
大山 輝久 (94)	日下部 一徳 (96)		
野田 誠一 (96)	前田 英彦 (96)		

<西南学院グリークラブ東京OB会・関西OB会：第3ステージ出演>

飛松 富士夫 (71)	霜村 元吾 (75)	森 猛 (62)	樋口 一法 (75)
木下 俊彦 (80)	永留 幸明 (83)	八尋 研二 (86)	中野 裕之 (81)
岡田 和夫 (81)	田中 穂積 (85)	保家 大司 (86)	大中 豊 (82)
村上 正道 (87)	古瀬 哲也 (86)	金子 泰久 (87)	岡 潔 (86)
徳永 正章 (89)		緒方 良英 (88)	邑本 真司 (89)
西田 正則 (91)		牛嶋 昭 (89)	
石丸 貴康 (93)			

<西南学院グリークラブ現役：第3ステージ出演>

田上 宏樹 (20)	戸川 拓海 (20)	桐原 勇仁 (20)	桑原 航平 (22)
中村 賀亮 (20)	石永 祐樹 (22)	井上 宗次郎 (22)	香畠 有 (22)
播磨 透太 (22)	樋口 晋也 (22)	猪原 譲 (22)	樋口 理一 (22)
		米崎 文哉 (22)	

1年間の演奏活動

2017.12.9 西南シャントゥール第40回記念演奏会
 12.15 福岡女学院「メサイア」コンサート
 2018.1.20 総会
 6.10 福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭
 6.27 出前ボランティアコンサート
 10.20 西南シャントゥール第41回定期演奏会

アクロス福岡シンフォニーホール
 アクロス福岡シンフォニーホール
 西南学院百年館セミナー室
 サザンクス筑後ホール
 母子寮
 アクロス福岡シンフォニーホール



福岡支部合唱祭



福岡支部合唱祭



出前ボランティアコンサート



先輩OBとともに



西南学院グリークラブ 第62回定期演奏会

- 2018年12月22日(土) 15時開演
- 西南学院大学チャペル (入場無料)

西南シャントゥールは、来年創立65年となります。

西南シャントゥールは昭和29年(1954)、西南学院グリークラブ(大学男声合唱団)OBの54期生が中心となり、広くOBに呼び掛けて結成されました。現在も学院卒業者のみのメンバーで構成されています。シャントゥール(Chanteurs)という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団(The Sea Chanters)とフランスの男声合唱団名(Companion de la Chanson)を参考にし、フランス風に洒落て、西南シャントゥール(Seinan Chanteurs)と命名されました。

結成された年には、早々に「全日本合唱コンクール」への出場を目指し、10月の西部合唱コンクール福岡支部予選で1位、11月の西部合唱コンクールでも、当時の有力合唱団を押さえて1位となり、西部地区での代表として「第7回全国合唱コンクール」に出場して、1、2位に僅差の、堂々3位に入賞しました。翌年も全国大会に出場し4位の成績を残しています。

現在は活動の中心を年に一度の「定期演奏会」に置き乍ら、所属する合唱連盟主催の「合唱祭」への出演を始め、ボランティア出前コンサート活動を続けています。又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目されています。
福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

《委嘱初演作品》

多田武彦 作曲：

男声合唱組曲「思ひ出」詩/北原白秋(後に、「柳河風俗詩・第二」に改名)(1994)
 男声合唱組曲「三崎のうた・第二」詩/北原白秋(1997)
 男声合唱組曲「中也の雨衣」詩/中原中也(2012)

吉田悠作 編曲：

日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」(1996)
 男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」(1997)

宇野正寛 編曲：

男声合唱曲「日本の歌メドレー」黒田節、この道 他(2000)

大島ミチル 作詞・作曲：

男声合唱とピアノによる「生命的誕生」(2004)
 「悲しい歌はきらいですか」(NHK「御宿かわせみ」主題歌男声合唱版 2004)

信長貴富 編曲：

男声合唱とピアノのための「時代」
 ~ニューミュージックと呼ばれた歌たち~(2007)
 (詞・曲/さだまさし、荒井由実、財津一夫、小田和正、中島みゆき)

「建設業」「国際関係業務」「遺言書・相続」
 ☎ 818-0138 福岡県太宰府市吉松4-3-8

行政書士安永事務所



Certified Administrative Procedures Legal Specialists
 OFFICE YASUNAGA

Tel 092-555-3241
 Fax 092-403-4510
 Mail director@office.yasunaga.org

《安心をお届けして 52 年 since 1966 》



東京海上日動火災保険 代理店
東京海上日動あんしん生命 代理店
損害保険協会認定 損害保険トータルプランナー
有限会社マスターズ保険サービス
野辺和馬 (セカンドテナー)
☎ (092) 291-3170
Fax (092) 291-1784

MASTERS
Insurance Service
Since 1966

和容堂薬局

代表 菊竹 章剛

〒830-0041 久留米市白山町392
TEL 0942-36-5266
FAX 0942-48-3677

薬院法律事務所

弁護士 鐘ヶ江 啓 司 (福岡県弁護士会所属)

〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院 1-5-11 薬院ヒルズビル 4 階 4-A
TEL : 092-732-5823 営業時間 8:00 ~ 21:30 (※刑事弁護のみ土日祝日対応)
事務所ホームページ <http://yakuin-lawoffice.com/>

九州で生まれ育ち、福岡の地で刑事弁護を中心に活動してまいりました。
土日も含め定休日なしで対応しております。初動対応の早さはもちろん、今まで積み重ねてきた
全ての知識と経験が強みです。依頼者様を全力でサポートいたします。

売る時、買う時、お任せ下さい。
誠心誠意でお手伝いさせて頂きます。



中垣不動産

福岡県知事(4)第14016号
太宰府市青山3丁目27番2号
☎ 092-918-6487
Email nakagakihudousan@gmail.com

株式会社 山本文房堂

●本店 / 中央区大名 2 丁目 4-32 〒810-0041 ☎ 092(751)4342
●アートスクール / 中央区大名 2 丁目 4-32 〒810-0041 ☎ 092(751)4342

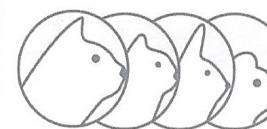
* 通信販売を承ります。お気軽におたずねください。

URL <http://www.yamabum.com> E-mail yamabum@anet.ne.jp

福岡市城南区

田島5-4-18

☎ 092-862-1222



KIDOU
SMALL ANIMAL
HOSPITAL

世界最高峰
の技術レベルを求められる
新幹線車両のコーディング
(博多)



日本が世界に誇る新幹線。その新幹線に携わって
技術を役立てているメリッキ会社は全国でたった 3 社。
その中の 1 社として日々研鑽に努めています。

福岡メリッキ技研工業株式会社

代表取締役社長 梶原 博司
本社工場 〒812-0006 福岡市博多区上牟田1丁目2番6号
TEL (092) 411-3107 FAX (092) 411-3416
<http://www.f-mekki.co.jp> E-mail kajihara@f-mekki.co.jp



おかげさまで、西南学院グリークラブは2019年100歳を迎えます！

Hats off to the past, Coats off to the future.

西南学院グリークラブ 創立100周年記念フェスティバル

主催 西南学院グリークラブ / 西南学院グリークラブOB会

日時 2019年9月22日(日)

会場 アクロス福岡シンフォニーホール

《第1部》
創立65周年記念

西南シャントウール 第42回定期演奏会

(有料・全席指定)
13:00~15:00

- I. 男声合唱のための第2ミサ Gounod 作曲 客演指揮: 小久保大輔
II. 賛助出演 西南グリーOBメンバーズ
「若者たち～昭和歌謡に見る4つの群像」 信長貴富 編曲
指揮: 井手 敏彦
III. ロシア民謡集
IV. 男声合唱組曲「富士山」 多田武彦作曲
指揮: 毛利 正明
客演指揮: 小久保大輔

《第2部》

西南学院グリークラブ フェスティバル

(無料)
16:30~19:00

■ エール Ah Seinan!

I. グリークラブOB演奏

- ① 1929~1969年卒グループ
- ② 1970~1979年卒グループ
- ③ 1980~1989年卒グループ
- ④ 1990~2006年卒グループ
- ⑤ 2010~2019年卒グループ

II. グリークラブ演奏

- III. 合同演奏 「月光とビエロ」 客演指揮: 小久保大輔
■ フィナーレ 「いざ起て戦人よ」 指揮: 内海 敏三

《客演指揮者 小久保 大輔 略歴》

東京音楽大学器楽科卒業。指揮を桐田正章、汐澤安彦の各氏に、トランペットを林 昭世氏に師事。2009年より劇団四季において「ウエストサイド物語」「サウンド・オブ・ミュージック」「オペラ座の怪人」を指揮。

現在、ガレリアウンドオーケストラ音楽監督・常任指揮者、マルティニショナルプラスアンサンブル音楽監督他。

合唱指揮者、オペラ指揮者、合唱用の編曲も数百曲手掛けた福永陽一郎(1926-1990)のお孫さん。



株式会社 音と映像

(旧社名: RKB 毎日ミュージックシステム)
〒810-0074 福岡市中央区大手門3丁目11番23号
Tel 092-771-1231 Fax 092-715-9206
URL <http://www.oto-eizo.com>

ミニチュアカーで楽しむ はたらくくるまの世界

はたらくくるまの魅力は、なんといっても、その重量感と力強さにあります。ミニチュアカーはその雰囲気を気軽に楽しめ、実際に持つてみるとズシリと重く、ハテさはないけれど実車に迫るリアルさが見せません。そこには子供を引き付けるだけでなく、本物志向の大を満足させるだけのクオリティと奥深さがあります。コレクティブな商品を扱う通販専門店の下記へお尋ねください

クレーン・トラック・建設機械の
ミニチュアカー専門ショップ



Model Truck
Factory

モデル トラック ファクトリー
<http://www.mt-factory.com>
メール info@mt-factory.com
〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東3-13-1

トラクターなど農業機械の
ミニチュアカー専門ショップ



Farming Machine Miniatures/Boon Boom Garage
フーリングマシーンミニチュア
ブーンボーンガーレー

Boon Boom Garage
<http://www.bb-garage.com>
メール info@bb-garage.com
〒818-0137 福岡県太宰府市青葉台3-21-16



since 1954